

題「自由吟」

小島 蘭幸 選

特
選

ブランコが揺れて独りが長くなる

広島市 高東八千代

【評】今は元気でいいのだけれど、これからを思うと…。ブランコが微かに揺れています。

喜寿青年スキップだってまだ出来る

広島市 永井 有三

【評】喜寿青年がいいですね、齢を重ねても、まだまだ楽しいことがいっぱいあるのです。

見渡せば持っては逝けぬものばかり

広島市 常國 喜好

【評】持っては逝けないけれど、捨てられないものばかりなのです。思い出がいっぱい詰まっています。

四年分の汗が滴るフエステイバル

三原市 笹重 耕三

【評】 待ちに待ったフラワーフエステイバル。歌って踊って若さが弾けます。

昭和という忘れられない玉手箱

広島市 安部 敦子

【評】 一生懸命だった昭和、どの頁を開いても愛が溢れています。

入
選

アルバムを開くと玉手箱だった

広島市 大林 載孝

終活中だけど無料に弱いです

福山市 奈良木亮子

四畳半コックピットとなるくらし

福山市 早川 迷子

プラごみで竜宮城が見あたらぬ

府中市 山本 智志

病室へ笑顔練習して入る

福山市 宝諸 京子

老いてなおうた詠むこころ持ち続け

広島市 吉川 徳子

幸せです笑って食べて寝ころんで

広島市 松田 稔子

戦争もコロナも人を変えました

竹原市 土井 輝恵

死ぬるのになんで戦争するのパパ

広島市 岡田 郁枝

まあいいかなんて気楽に生き延びる

江田島市 住田 照水

大海を知らぬわたしのテリトリ

広島市 西永美智枝

天秤棒つりあい取れてきて傘寿

神戸市 新谷伸比呂

余命宣告弥陀に委ねたこの命

呉市 野高 善子

笑顔生む魔法の言葉ありがとう

尾道市 岡田 容子

半分こ出来る夫婦のままがいい

竹原市 室 晃二

父母の想い出古き表札に

竹原市 田中 敬子

ノーマスクはじめましての君の顔

広島市 若狭 綾香

仲直りできた入道雲の下

広島市 熊谷 純

七人の食事の世話が懐かしい

三次市 平野笑美子

日陰へと忍者のように移動する

広島市 塩井 綾乃